

平成26年度日本郵便 [ニンゲン]
年賀寄附金助成事業

介助派遣システム主催
地域交流学習イベント

人間ROCK

独立シリーズ

2014年度
第3回
(通算8回目)

『身体障害者』が地域で生きる



日時: 10月19日(日) 15:00~

会場: BAGA-SHOP ぽじ屋(座・ROCK)
さいたま市桜区道場2-15-26

申込不要・参加費無料(飲食は別)どなたでも参加できます。
障害のある人もない人も、障害のある人を支えている人も
支えられている人も、他団体の人も買い物途中のお客さん
も、どうぞご参加ください。途中入場も退席も自由ですよ。

10.19 sun 15:00 START

[ニンゲン]

人間ROCK

独立シリーズ

CONCEPT

障害があっても地域で暮らしていくことを願い、さまざまな障壁や問題と向き合う。

地域交流連続学習イベント **人間ROCK** は、『どんなに障害が重くても地域であたりまえに暮らす』ことを目指しながら活動が続ける、障害者団体「虹の会(介助派遣システム)」が主催するイベントです。

人間ROCK では、障害者が社会から隔離された入所施設などで、その一生を過ごすことを余儀なくされている多くの現状や、障害があっても、障害のない人と同じように、ひとりの人間として地域で暮らしていくために必要なこと、それら障壁となっている多くの問題(課題)を解決していくため、障害のある人自身や、普段障害者と関わることの少ない市民の皆さんや、同じように障害者運動としてさまざまな取り組みをおこなっている他団体の皆さんに向けて、虹の会が直面している問題を題材にしたパフォーマンス(発表)をおこない、(互いに)学習しながら、まずは共有(理解をいただく)することを目的としています。

そして、それら共有することで、共闘していただいたり、皆さんの理解や応援といった力を背景に、行政との交渉(必要な制度を求めることなど)へと繋げていきたい考えです。また、虹の会とは違った意見(見解)をお持ちの人がいらっしやるのは至極当然のことで、そういった意見をいただくことも、虹の会にとって学習となり、物事の考え方が充実したり、より良いアプローチの仕方などを教えていただける機会になると、期待しています。

2014年度の**人間ROCK** は、年6回開催し、毎回違うひとつのテーマにスポットをあて、それぞれ詳細に明かし、最終的には、ある意味における『あたりさわりのある部分にまで触れていきたい考えです。とはいえ初めての人にも、そうではないベテランの人にも、まずは楽しんでいただけるような内容となるよう努力していきますので、皆さんどうぞ構えず、気楽な参加を、よろしく願います。

INTRODUCTION

第3回の**人間ROCK** は、【身体障害者が地域で生きる】と題し、虹の会で中心的に活動する4人の身体障害者に注目する。工藤伸一は重度の筋ジストロフィにより、現在では人工呼吸器を使用しながらも、地域での暮らしを続けて20数年、そこから見える景色とは何か。松沢純子は重度の脳性麻痺により、強い身体の緊張や、言語障害がありながら、浦和市(さいたま市)における自薦登録方式(自身が選んだ介助者を使う)による介助制度を成立させた、そのひとりである。加納友恵も重度の脳性麻痺があり、幼少期より親の介護や普通学校で過ごした経緯にさまざまな葛藤を抱き、それら解放するために地域での暮らしを選択した。藤井義則は筋ジストロフィでありながら、企業就職など一般的な社会をより多く経験した後、障害者運動の世界に突入し、その破天荒な人生に基づく乱暴な言い回しや多彩な屁理屈により役人の隙を巧妙に突く荒技、洗練された無駄の無い無駄な動きを生かしながら、活動を続けている。それぞれ悪い意味で個性的過ぎる4人が目指す地域での暮らしとは何か、出来ればまた動画を主体としたコンテンツを用意し、皆さんと一緒にさまざま考えてみたいと思います。(藤井)

ACCESS

『バカショップ・にじ屋』は市民の皆さんからいただいたリサイクル品を販売する巨大倉庫型店舗です。障害があっても地域で『充実』した暮らしを目指す知的障害者が働いています。『座・ROCK』は、そのにじ屋内に設置された地域コミュニティの拠点(総称)です。
★営業日★毎週・水・木・金・土・日【10:30~18:00】
★アクセス★公共交通機関ご利用の場合、浦和駅西口2番バス乗り場【大久保浄水場行き】【桜区役所行き】のいずれかに乗車。【道場】停留所で下車後、徒歩1分。
★店舗住所★さいたま市桜区道場 2-15-26★お問い合わせ★人間ROCKに関することは 048-851-7558 介助派遣システムまで(メールは kano@nijirock.com)。

